

食品中の放射性物質対策について

＜基本的な考え方＞

- ◇ 平成 23 年 3 月 11 日の福島第一原発事故以来、都は食品の安全性を確保するため、国に対して緊急要望を実施したほか、食品の検査体制を整備する等の取組を進めている。
- ◇ 食品中の放射性物質検査については、生産、流通の各段階で安全確保に向けた検査体制を構築。
- ◇ 平成 24 年度は、新基準値の設定（平成 24 年 4 月）を踏まえ、都内流通食品の検査規模を拡大。
- ◇ 都民の不安に対しては、都民向けフォーラム等の開催や電話相談窓口の設置、ホームページによる情報発信等の情報提供を実施。

＜食品中の放射性物質検査について＞

生産、流通の各段階で、安全確保に向けた検査体制が構築されている。

- **都内産農産物等の検査**（平成 23 年 3 月開始）
産業労働局が策定した検査計画に基づき実施

H23 年度実施検体数	H24 年度実施検体数
412 (3)	179 (3)

※検体数は H24 年 6 月末現在、() の数は暫定規制値・基準値を超えた検体数

- **都内流通食品の検査**（平成 23 年 11 月開始）

H23 年度実施検体数	H24 年度実施検体数
503 (0)	261 (0)

※検体数は H24 年 6 月末現在、() の数は暫定規制値・基準値を超えた検体数

- **芝浦と場における牛肉の全頭検査**（平成 23 年 12 月開始）

H23 年度実施検体数	H24 年度実施検体数
24,280 (0)	22,454 (0)

※検体数は H24 年 6 月末現在、() の数は暫定規制値を超えた検体数

- **国及び地方自治体を実施している検査**

生産地での検査結果に基づき、出荷制限する仕組みを国が構築

H23 年度実施検体数	H24 年度実施検体数
137,014 (1,204)	50,432 (985)

※検体数は H24 年 6 月末現在、() の数は暫定規制値・基準値を超えた検体数

（参考）食品以外の放射性物質のモニタリング検査の実施状況

環境中の放射線量等を測定、結果を公表

- ・ 空間放射線量をモニタリングポスト(8箇所)により測定
- ・ 降下物、蛇口水、大気浮遊塵、浄水場の浄水を測定

＜都民への情報発信＞

- **食の安全都民フォーラム等**

H23 年 6 月 「放射性物質と食品の安全性について」

H24 年 3 月 「放射能対策の過去・現在・未来を考える
～福島第一原発事故からの 1 年をふまえて～」

- **緊急消費者講座（計 4 回実施）**

H23 年 7,8 月 「予期せぬ震災等への知識の備え」

テーマ 2) 惑わされない放射性物質の基礎知識・数値基準と健康被害、食の安全を考える

- **くらしフェスタ東京 2011**

H23 年 9 月 「震災から見えてきた食の安全

～「放射能」と「食の安全」にどう向き合うか?～」

- **放射性物質対策に関するリスクコミュニケーション(全 4 回主に事業者向け)**

H23 年 4 月 「放射性物質と食品の安全について」(2 回開催)

H23 年 7 月 「環境中に放出された放射性物質の飲食物への影響」

H24 年 2 月 「食品の放射性物質汚染への対応について」

- **教員向け研修会**

H23 年 10 月 「放射能と健康影響に関する教員向け研修会」

- **電話相談窓口における相談件数**

H23 年度相談件数	H24 年度相談件数 (H24 年 6 月末現在)
5,024	197

- **健康安全研究センターホームページへのアクセス数**

約 1 億 1150 万件 (H23 年 3 月から H24 年 5 月末まで)

URL : <http://monitoring.tokyo-eiken.go.jp/>